

## 境界確認図書（作成要領）

市担当者から境界確認図書の提出の連絡が入りましたら、下記のとおり、ホチキス留めと割印をした境界確認図書（位置図、公図写し、確定図、断面図、境界立会承諾書、境界標の写真）を2部提出してください。

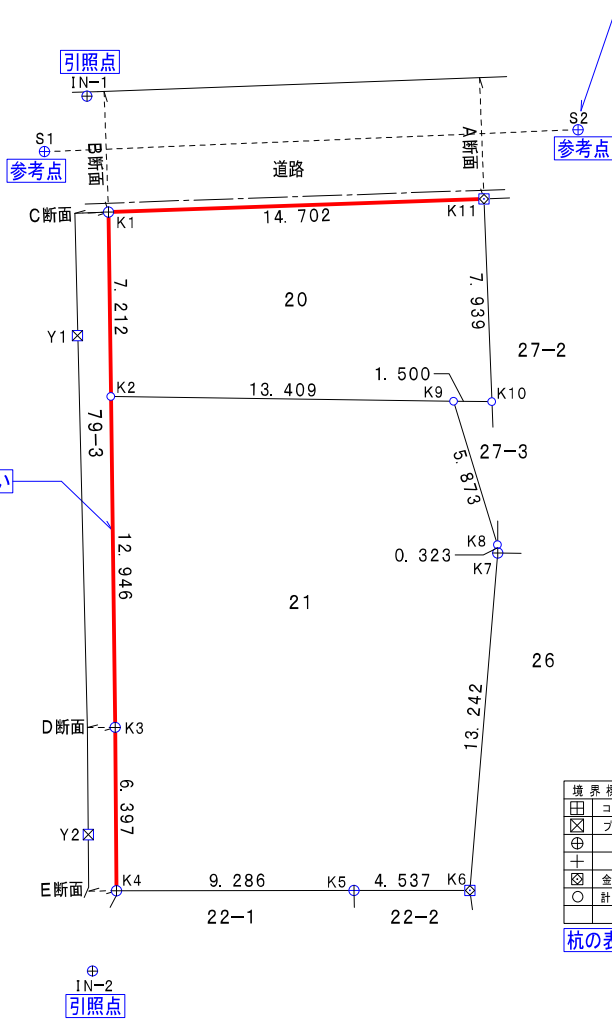
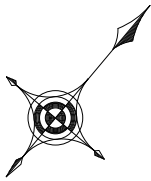
### 記

#### ● 確定図及び断面図

- ・境界の変化点毎に境界標の種別を記載する。
- ・境界復元の主旨により公共基準点とは別に引照点2点以上と、測量地全体の境界寸法及び座標求積表を表示する。
- ・現況道水路幅員をそれぞれ明記する。
- ・境界の変化点毎に断面図を作成する。
- ・申請箇所は朱線にて表示する。

#### ● 境界立会承諾書

- ・原本でない場合は作成者の原本証明をする。



官民境界の確認の根拠とした点は参考点としてください

確認した官民ラインは赤線にしてください

境界標の種類	
<input type="checkbox"/>	コンクリート杭
<input type="checkbox"/>	プラスチック杭
<input type="checkbox"/>	杭
<input type="checkbox"/>	刻印
<input type="checkbox"/>	金属プレート
<input type="checkbox"/>	計算点

杭の表示を記載してください

申請地以外の辺長及び座標値（引照点と参考点を除く）は記載しないでください

直角座標法求積表

地番	20				
NO	X <sub>n</sub>	Y <sub>n</sub>	Y <sub>n+1</sub> - Y <sub>n-1</sub>	X <sub>n</sub> · (Y <sub>n+1</sub> - Y <sub>n-1</sub> )	
K1					
K2					
K9					
K10					
K11					
					合計
					合計面積
					地積
					m <sup>2</sup>

地番	21				
NO	X <sub>n</sub>	Y <sub>n</sub>	Y <sub>n+1</sub> - Y <sub>n-1</sub>	X <sub>n</sub> · (Y <sub>n+1</sub> - Y <sub>n-1</sub> )	
K2					
K3					
K4					
K5					
K6					
K7					
K8					
K9					
					合計
					合計面積
					地積
					m <sup>2</sup>

確認した官民界の座標値を記載してください（求積表でも可）

引照点座標一覧表

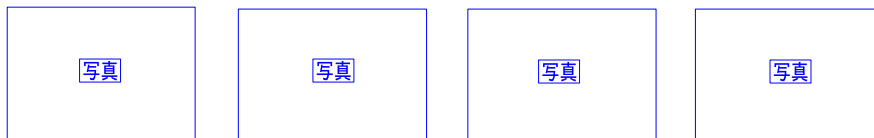
点名	X座標	Y座標	備考
IN-1			
IN-2			

世界測地系であっても引照点の位置と座標値を記載してください。

参考点座標一覧表

点名	X座標	Y座標	備考
S1			
S2			

官民境界の確認の根拠とした点は参考点として位置と座標値を記載してください

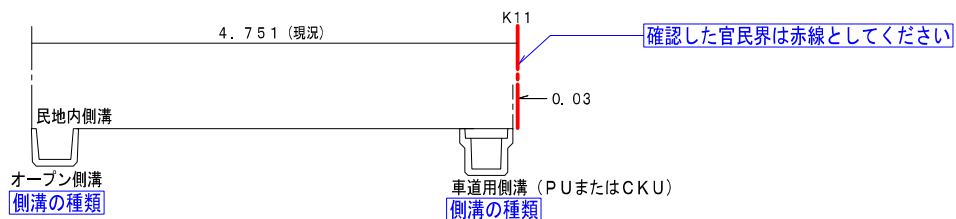


境界標の写真（官民界のみ）を添付してください 別紙でも構いません

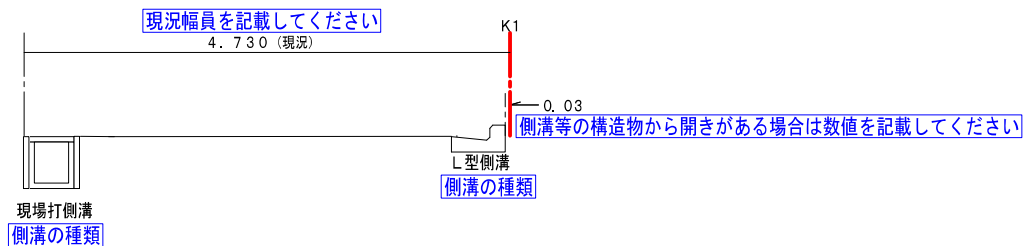
所在地番	一宮市〇〇町字〇〇20番 21番		
図面名称	確定測量図	縮尺	1 : 250
作成年月日	平成 年 月 日	作成者	一宮市●●町●丁目●番●号 土地家屋調査士 □□□□ 職印

北側道路

A 断面



B 断面

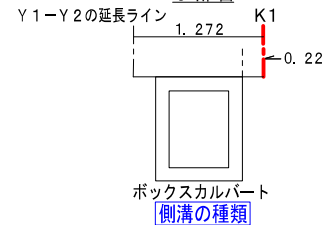


側溝の種類を記載してください。

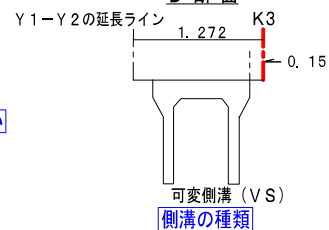
対側に構造物がない場合、何を現況としたのかを記載してください

東側水路

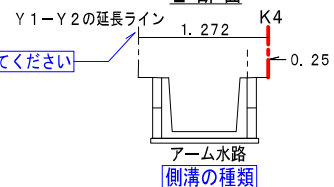
C 断面



D 断面



E 断面



所在地番	一宮市〇〇町字〇〇20番 21番		
図面名称	断面図	縮尺	1:50
作成者	一宮市●●町●丁目●番●号 士地家屋調査士 □ □ □ □ 職印		
作成年月日	平成 年 月 日		